

タイ・エメラルド寺院を見学、あでやかさに驚く！



# 日本の豊かさを実感 青少年海外視察研修

8月1日から5日まで、平成2年度の光町青少年海外視察研修が行われました。参加者は16人(高校生12人、社会人4人、うち女子7人)がタイ国で貴重な体験をしてきました。参加者を代表して、篠本5120番地、関口綾子さん(高校2年生)の感想文を紹介します。

篠本三区

関口 綾子

この研修に参加して、高校生の今、こんな貴重な体験ができてとてもよかったと思います。

タイに書いて、この国を最初に見たときはとても不安になりました。出発前、周囲の人たちにおどかされていったこともあって、ぶっそりで貧しくて汚ないところだと、そういう目で見ることができませんでした。でも、実際はそのような悪い国ではありません。タイの人たちはみんな笑顔で接してくれて、あたたかい人たちがばかりです。確

かに盗みぬすをしたりする人もいるかもしれませんが、そんな一部の人たちだけで全部の人をそう見てしまうのは、とても悲しいことです。タイの人たちは本当にいい人たちがばかりでした。

街の中は

確かにきれいとはいえませんが、車の数とその走り方には驚きました。バイクに四人乗りして

いたり、車線なんてほとんど守られていなくて、目の前で事故がおこらなかつたのが不思議なほどです。また、食事はそれほど心配したものではありませんでした。でも白い

## 笑顔があれば友だち

ご飯だけはおいしいとは思えなくて日本のお米がやっぱり一番だと思いました。水上マーケットの見学の時、川で生活する人たちを実際に見ました。茶色くにごった川で体をあらう人がいました。顔をあらうのも歯をみがくのもこの川の水を使うと聞きませんでした。日本では考えられないことです。

農家の見学では、稲作のしかたを聞きました。農機具は昔の日本でも使っていたものもありました。話をきいてみると、もっと改善できる点はたくさんあるように思いました。このように実際の人びとの生活を見て、今の生活に満

足りているのか、どうしてできることをやらないのかと思いました。そこは国民性の違いなのでしょうが、少しのことで生活は向上できるはずではないかと思うのです。この研修から帰って、印象に残っているのはやっぱり人

びとの生活している家のようすや街のようすなどです。日本はいいところなんだと感じました。また、果物がおいしかったことや、珍しい花がいろいろあってとてもきれいだったこともありです。やっぱり南国だという感じでした。それと、人びとの笑顔が一番忘れられません。向こうの国の、ホテルやレストランや観光地だけでなく、空港や飛行機の中でも、いろいろな人と出会い、言葉を交わしたことがとてもうれしかったです。笑顔があればみんな友だちになれるのだと思いました。

今回、私にこの貴重な体験をする機会を与えて下さった方がたと、これを許してくれた家族に心から感謝します。この体験は今の私にとってとても貴重で大切です。これから生活の中で何かに生かされたら、この研修の意味がより深まると思います。そうできるようにこれからもいろいろなことを体験して、そしてがんばっていかうと思います。